

しばらく間が空きました。

書きたい状況がありましたが、不透明な情勢だったため、結果的に久しぶりになってしまいました。

ようやく、はっきりしたことが言えるようになりましたので、今回は、保険診療でのがん遺伝子のパネル検査についてご報告します。

厚労省から令和2年1月1日付けとして、当院が、『がんゲノム医療連携病院』の指定を受けたことが公開されました。

長野県内の『がんゲノム医療拠点病院』である、信州大学医学部附属病院と連携して保険診療でのがん遺伝子パネル検査ができるように認められました。

これから事務的な手続き（意外と日数を要します）を進めて参ります。

遺伝子を扱う上で必要なプロセスですのでご理解いただければ幸いです。

コロナウイルスなど嫌な話題が目立ちますが、当地のがん診療においては大きな一歩だと思いますので、2020年はじめの話題として提供させていただきました。

進捗状況については、本コラムでも継続してお伝えできればと思います。

では、また